

# 総括質疑

市長や市議会に対する  
総括質疑の一部  
を掲載します。

## 新風会 後藤 彰 議員

**質疑** 令和5年度予算編成に当たり重視した点は。また、5年ぶりに増額となった新年度予算の特徴は。

**答弁** 令和5年度予算編成に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることや、高浜クリーンセンターの建て替えなどの大型公共工事が本格化することなどを踏まえ、これまで以上に限られた財源をいかに効率良く、いかに効果のある事業に配分するかという視点で取り組んだ。また、本市の発展と活力を持続させる政策に加え、公園の美化対策、高齢者力仕事OSSサービス事業など、市民の身の回りの生活を改善する政策にも手厚く配分した手堅い予算編成であると考えている。

**質疑** 新年度における障害者福祉および高齢者福祉の充実に向けた取り組みは。



おとしよりぐるりんタクシーに新たなルートを追加

**答弁** 障害者福祉では、メロンの水耕栽培を行う障害者農業就労施設の令和6年度開設に向け、栽培施設や管理棟の整備、外構工事等を進めていく。高齢者福祉では、介護OSSサービスや高齢者等あんしん見守りシステムなどの施策を一層充実させるとともに、介護人材賃補助金を創設し、介護職の人材確保にも取り組んでいく。また、新たに長野地区において、おとしよりぐるりんタクシーの運行を開始する。これらの施策により、障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、引き続き努めていく。

## 市民クラブ 中島 輝男 議員

**質疑** 保育士情報ステーション（仮称）の事業内容は。また、事業の実施により期待できる効果は。

**答弁** 保育士情報ステーション（仮称）は、保育士の確保が難しいという私立保育所等からの声を受け、新たな事業として実施するものである。具体的には、専用窓口を設置し、市内の保育施設等の求人情報の提供や就労後の悩み相談のほか、再就職に向けた実習が可能な保育施設等のあっせんなどを行う。保育士が就職しやすい環境を整えることで、本市で就職したいと考える求職者の増加や、現在働いている保育士の他市への流出防止を図ることができると考えている。

## 公明党 新保 克佳 議員

**質疑** 5力年計画で行う高崎自然歩道整備の方針は。また、自然歩道周辺にある歴史遺産を活用する考えは。

**答弁** 高崎自然歩道を安心して楽しく散策できるように、

# 市政を問う 一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、令和5年3月現在で掲載しています。



## 高崎市の水害対策 白石 隆夫 (新風会)

**質問** 河川流域全体で行う水害対策として、本市の流域治水に対する取り組みは。

**答弁** 本市では、烏川および神流川流域の自治体として、烏川・神流川流域治水協議会に参画しており、地域の防災拠点となる新町防災アリーナや、災害対策車3台の運用、国による烏川上流築堤事業などを烏川・神流川流域治水プロジェクトに登載し、水害対策に取り組んでいる。

**質問** 令和元年の台風19号での被害を受け、対策として整備した排水施設の概要



## 3歳未満児の保育料 谷川 留美子 (無所属)

**質問** 第2子の保育料を、きょうだいの同時入所などの要件にかかわらず無料、または半額にできないか。

**答弁** 本市では国の基準に合わせて、要件を満たす場合に第2子の保育料を半額としている。一律で無料、または半額とすることについては、現在国で3歳未満児

の支援の在り方について検討が始まったところであり、その動向を注視していきたいと考えている。

**質問** 新生児の難病検査として、新生児マススクリーニング検査のほかに、脊髄性筋萎縮症と重症複合免疫不全症の検査を自費で受けられることの周知は。また、

これらの難病の検査費用を本市が補填する考えは。



## 高崎の食の発信 豊岡 経大 橋 (仮称) 中島 輝男 (市民クラブ)

**質問** 高崎の新たな名物となる食の開発を官民一体となって行う考えは。

**答弁** 本市では、高崎の食発信事業や官民が連携したPRを展開しており、その結果、パスタや焼きまんじゅうの認知度が高まってきた。これらを継続するとともに、新たに高崎ほるもんや果物などのプロモーション

況を注視したい。また本市が検査費用を補填することは、検査体制等の課題がある中で検査を推奨することにつながるため、慎重に対応するべきだと考えている。

**質問** 豊岡経大橋（仮称）の整備について、地域住民から交通渋滞を心配する声があるが、整備目的と渋滞緩和対策は。

**答弁** 豊岡経大橋（仮称）を含むアクセス道路は、豊岡新駅（仮称）へのアクセス向上や新駅利用者増加を目的としており、烏川を挟んだ豊岡・小高両地区の一体感の醸成にも寄与すると考えている。またアクセス道路の整備によって環状線の交通が分散するとともに、交差する県道あら町下室田線や国道406号に右折車線を設けることから、周辺道路の渋滞緩和につながると考えている。



全国ふるさとフェア（横浜赤レンガ倉庫）

### 可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。  
詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む人の日常を守る取組の強化を求める意見書

### 請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の採択について
- 「聞こえのバリアフリー制度」を実現するための補聴器購入助成制度を求めることについて